

1-3-18 旧八月一日家住宅

旧八月一日家は、白川郷三尾河（現高山市荘川町三尾河）にあった西願寺の庫裏として江戸時代末期に建てられたものである。入母屋茅葺屋根の妻側に鼻小屋という採光、換気のための窓が設けられ、幅の広い縁など荘川造りと言われる形態をしている。

「八月一日」の名の由来

旧暦の八月一日は現在の9月10日頃に当る。飛騨地方ではこの頃になると粟・稗などの雑穀が実り穂を摘んで収穫したことから、八月一日と書いて「ほづみ」と読ませた。

説明板より